

平成 20 年度 福生市環境マネジメントシステム独自目標の取り組み結果

福生市環境マネジメントシステム LAS-E の運用にあたり、平成 20 年度は 7 項目の独自目標を設定し、取り組みを進めた結果、次のとおりの結果となりました。

内容	19年度実績	20年度数値目標	20年度実績
グリーン調達の推進 (全庁的目標)	紙類 97.2% 自動車 35.8%	紙類 97.6% 自動車 42.6%以上	紙類 96.3% 自動車 48.3%
コピー用紙の使用抑制 (学校を除く)	4,188千枚 (前年度比 15%削減)	学校を除く一般事務事業におけるコピー用紙使用量 (A4換算) 4,188千枚以下 (前年度比 0%削減)	5,095千枚 (前年度比 22%増)
日常事務活動に伴う電気の使用削減 (全庁的目標)	6,220Mwh (前年度比 1%削減)	一般事務事業における電気使用量 6,450Mwh以下 (前年度比 4%増)	6,306Mwh (前年度比 1%増)
自動車利用によるガソリン・軽油の使用削減 (全庁的目標)	46,559ℓ (前年度比 2%削減)	全庁のガソリン・軽油の合計使用量 46,559ℓ以下 (前年度比 0%削減)	29,771ℓ (前年度比 36%削減)
可燃廃棄物の排出量削減 (有料処理分・従量) (目標値は本庁舎ベース)	1,644kg (前年度比 77%削減)	可燃廃棄物排出量 1,604kg以下 (前年度比 2%削減)	1,409kg (前年度比 14%削減)
環境推進委員会・マネージャー会議の開催	—	推進委員会開催 1回以上 マネージャー会議開催 3回以上 を開催予定	推進委員会 1回 マネージャー会議 4回 を開催
環境基本計画における進捗状況の情報公開	環境基本計画の進捗状況については、年1回報告 (環境審議会にて)	年1回以上定期的に情報公開を実施	環境基本計画の進捗状況については、年1回報告 (環境審議会及びHPにて公開・報告)

以下のとおり、結果の詳細を取りまとめました。

《目標別の結果》

【エコアクション部門】

1. グリーン購入の達成率を高めます。(目標：紙類 97.6%以上、自動車 42.6%以上)

福生市では、平成 13 年に「福生市環境物品等の調達に関する基本方針（グリーン購入）」を定めており、各部署は、この基本方針に沿って物品等の購入を行うことと決められています。

LAS-E の 20 年度目標設定に際して、事務用品として特に消費量が多いコピー用紙と、公用自動車について、グリーン購入率を高めることを目的としました。

■紙類については、色紙やコート紙等特殊紙種の需要があり、100%とはならない実情があります。特に 20 年度は調査方法を刷新したことから、より正確なデータを収集できたため、目標を達成できなかったと分析しています。

■自動車については、車両の買換え時に福生市グリーン購入方針に沿った車両に切り替えることとしています。なお、目標の数値は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」第 28 条の規定により、当市契約管財課が東京都に報告している「自動車環境管理計画書」に基づいた計画台数を根拠としています。

2. コピー用紙の使用枚数を抑制します(目標：4,188 千枚以下)

	平成 19 年度実績 (A4 換算)	平成 20 年度目標値 (A4 換算)	平成 20 年度実績値 (A4 換算)	対前年比 (%)
一般事務事業 (学校を除く)	4,188 千枚	4,188 千枚以下	5,095 千枚	+21.6

■コピー用紙の使用枚数削減目標 (A4 換算) については、小・中学校を除いて目標設定していません。これは、本来 LAS-E 第 1 ステージの対象範囲に教室 (授業活動) が含まれないこと、紙類の大半が授業等に要するもので、現段階では一律の削減を求めることが適当でないとの判断から、対象から外しています。

■20 年度は、19 年度実績値より 21.6%も増加してしまいました。これは、自庁印刷が増えたこと及び使用量の排出量調査方法を刷新したため、より正確なデータを収集できたことにより使用量が増えたものと事務局では分析しています。

3. 電気の使用量を予測される見込み使用量よりも減らします

(目標：6,243Mwh 以下 CO2 排出量：2,359,854 kg 以下)

平成 19 年度実績	平成 20 年度目標値	平成 20 年度実績	対前年比 (%)
6,220Mwh	6,450Mwh	6,306Mwh	+1.4

■20 年度については、市役所新庁舎が完成して 100%稼働となるなど、市全体の施設の・事務的環境が変化したことから、19 年度比で 3%程度高い目標値 (6,450Mwh) を設定しましたが、実績値は 6,306Mwh と、目標値を 2%下回ることができました。

4. 自動車利用によるガソリン・軽油の使用量を減らします

(目標：29,176 ㍓以下 CO2 排出量：67,397 kg以下)

平成 19 年度実績	平成 20 年度目標値	平成 20 年度実績	対前年比 (%)
46,559㍓	46,559㍓以下	29,771㍓	▲36.0

■20 年度は、LAS-E 導入により公用車利用を控える取り組みを実践したこと及び公用車の保有台数が削減（19 年度比 10 台減）されたこともあり、独自目標を 19 年度実績（46,559 ㍓）以下としましたが、使用量実績は 29,771 ㍓と、19 年度比で 36%を削減しました。

《参考》自動車 1 台当たりの燃料使用量削減率

平成 19 年度 (保有台数：74 台)	平成 20 年度 (保有台数：64 台)	対前年比 (%)
629.2㍓	465.2㍓	▲26.1

5. 可燃廃棄物の排出量を前年度より 2%減らします (目標：1,604kg 以下 (本庁舎ベース))

平成 19 年度実績	平成 20 年度目標値	平成 20 年度実績	対前年比 (%)
1,644kg	1,604kg 以下	1,395kg	▲14.3

■平成 20 年度独自目標は、19 年度実績値（1,644kg）より 2%削減した 1,604kg としましたが、再利用可能な紙類の分別徹底、個人的なごみの排出抑制等を徹底した結果、排出量実績は 1,409kg と、結果的に 19 年度比で 14.3%削減しました。

■本庁舎以外の施設については目標数値に含めていませんが、排出量削減のための取り組みについては、本庁舎と同様に実践しています。

【エコマネジメント部門】

環境推進委員会を年 1 回以上、マネージャー会議を年 3 回以上開催します。

区 分	開催日	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	平成 20 年 7 月 24 日	20 年度独自目標 (案) の審議について
環境マネージャー会議	平成 20 年 8 月 14 日	20 年度独自目標の確認、具体的な取り組みの手法等について
	9 月 24 日	
	12 月 18 日	
	平成 21 年 1 月 8 日	

■環境推進委員会は、市長以下、副市長、各部長により構成されています。LAS-E システムの概要（推進体制、取り組み内容等）及び取り組み初年度となる 20 年度の LAS-E 独自目標について協議しました。

■マネージャー会議のメンバーは、直接的に環境影響のある業務を所管する部署の課長職である「環境マネージャー」により構成されています。職員の具体的な取り組みである共通実施項目の検討、20 年度版の職員ハンドブックの内容検討、監査の実施に向けた調整等について、4 回にわたって協議しました。

- 市の直接的な組織ではないため、対象には含めていませんが、上表のほかに目標設定のために市民を交えた「目標設定チーム会議」を1回開催しています。

【エコガバナンス部門】

環境基本計画の進捗状況について、年1回以上公開します。

- 「福生市環境基本計画」に基づく事業がきちんと進められているか、その進捗状況について、市の内部組織である環境事業推進本部で審議し、さらに市民・事業者・学識経験者からなる環境審議会に諮っています。環境基本計画の進捗状況は、市のホームページから御覧いただくことができます。

《福生ホームページ URL》

<http://www.city.fussa.tokyo.jp/life/environment/general/outline/88vtda000001k7n1.html>